

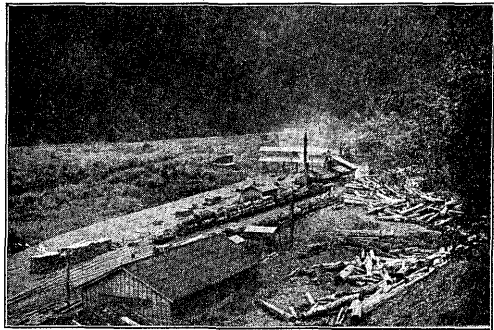
## 雑 録 Miscellaneous

### ○新大平山見聞録 (小林義雄)

一人旅ノ氣樂サモ手傳ツテカ、或ハ内地並ニ夜明ケノ時ヲ誤算シテカ、未ダ充分明ケヤラヌ竹林驛ヘ周章テ、馳ケツケタノハ正ニ發車時刻 6 時 50 分ヲ過ギル事 5 分デアツタ。營林署經營ノ森林鐵道デ今日中ニ土場ニ達シ更ニ山頂行ノ索道ニ連絡スルニハ是非トモ此列車ニ依ラネバナラヌノデアル。

臺灣北部一帯ハ今迄數ヶ月間雨又雨デ殊ニ多雨デ著名ナ大平山デハ濡レル事ハ覺悟シテ居ツタノデアルガ、本田博士一行ガ離臺セラレタ翌日ヨリ霽レ上リ北部ハ正ニ乾期ニ入ラントシ絶好ノ登山日和トナツタ。

天候ハ上乘、體ノ具合モ快調、準備萬端整ヘテ昨日臺北ヨリ東海岸ノ羅東ニ來タリ、竹林驛前ノ羅東營林署俱樂部ニ大平山旅行ノ第一夜ヲ明カシタノデアツタ。鐵道ハ昨日見學シタニ結ノ臺灣興業會社附近ヨリ東ニ折レ、濁水溪ニ沿フテ暫ラクハ水田、甘蔗畠中ヲ走ツタガ、次第ニ山間ニ入ル。白鷺ガ極メテ多ク田間ノ樹上ニ群棲スル様ハ宛ラ



第 1 圖 土場驛附近

木蘭ノ花盛リノ觀ガアル。人家アレバ必ラズ刺竹叢ガアツテ、コレヲ圍ム。丁度武藏野ノ樺、杉ノ杜ヲ思ハスル如クデアルガ、刺竹叢ガマラリヤ病媒介ノ蚊ノ發生所トナルノデ、最近ハ強制的ニコレヲ伐ラセ、爲メニ餘程減少シタノダサウデアル。至歪トカ牛鬩トカ云フ異様ナ名ノ驛ヲ過ギテ濁水驛ニ着ク頃鐵道沿線ニハ蕃社ノ散在スルノガ目立ツテ來ル。農耕ニ従事スル者ガ多イト見エテ畠アリ、周圍ニ喬木狀ノ蓖麻ヲ廻ラシテキルノが見ラレル。

10 時過ギ鐵道ノ終點土場ヘ着ク。此處ハ新舊兩大平山ノ麓デアリ、ビヤナン越ヘラスル發足點デモアリ、次高山、南湖大山ノ登山口トモナツテキル。

コレヨリ約一週間ノ山中生活ニ



第 2 圖 白糸索道附近ノ林相

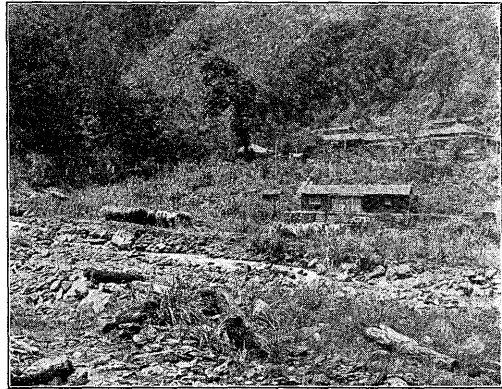
入ルノデアルガ、其間ニ見聞シタ事柄ヲトリトメモナク綴ツテ見ル。

**○大平山ト新大平山** 豫テ出發前ニ大平山ノ豫備知識ヲ入レテ來タノデアルガ、着イテ見レバ從來ノ大平山ハ既ニ伐採事業ニ一段落ヲツケ 3-4 年前ヨリコノ東ニ隣ル尾根ヲ事業區トシテコレニ新大平山ノ名ヲ與ヘテ居ルト。一日根據地ノ鳩ノ澤溫泉ヨリ舊大平山ニ登ル。既ニ訪レル人モ無ク徒ニ草ノミ生ヒ繁リ半バ廢道ト化シテキル。往時ハ相當ニ人家モアツタト云ハレル檜木平ハ住ム人モ無ク軌道モ取拂ハレ廣葉杉ヤ檜、杉等ノ殖林ガ續クノミ。コレニ對シ新大平山ハ連互スル峯々ニ鬱蒼タル針葉樹林ヲ形成シ、著名ナ阿里山、八仙山等ヨリモ大規模ナモノデアルト。

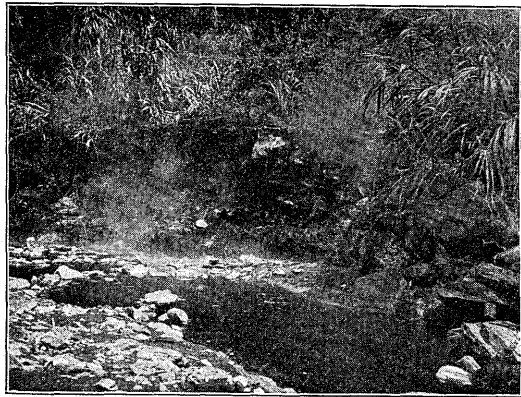
**○鳩ノ澤溫泉** 土場ヨリ一里足ラズ軌道ニ沿フテ登ツタ處ニ溫泉ガアル。數軒ノ人家アリ。營林署經營ノ溫泉クラブモアル。海拔約 500 米ノ谷間ニ在ツテ周圍ハ菌類採集ニ好都合ナ陰濕ナ森林ニ包マ

レテキル。溫泉ハ河ノ對岸ノ岩壁ノ諸處ヨリ湧出シ、「アルカリ」泉デ量モ豊富デアルシ少シク水ヲ交ゼテ適當ノ溫度トナシ一浴後縁ニ立テバ涼風肌ニ爽カニ、身ハ亞熱帶地ニ在ルヲ忘レ、何トナク日光ノ八丁湯附近ニ居ルガ如キ錯覺ガシタ。庭前ノ通脫木ノ大形ノ葉、ひめばせうノ緋色ノ花等ガ寧ロ異様ニサヘ感ゼラレル。附近ノ森林ニハ檜、いぬびは類、たぶのき、むくえのき、やまぐるま、くす等ガ多く臺灣ばせう、ひよけへご、くわずいも等ガ熱帶ノ觀ヲ呈シ、林内ニハくろづく、とう等ガ我々ノ侵入ヲ遮リ、樹ニハはぶかづらが攀縁シかざりしだ、おぼたにわたり、ひもかづら等が目立チ、着生ノ羊齒類、蘭類モ多く、陰濕ナ地表ニハうらいさうノ大群落ガアリ、南國ノ空氣ニ充分染マヌ我々ニハ凄味サヘ感ズル。

宿ヲ守ル岸上トイフ夫婦ガ話好キデ、曾テ阿里山ニ於テ故早田博士ガ一ヶ月間山中ニ籠ラレテ植物研究ヲサレタ事、又昨年



第3圖 鳩ノ澤溫泉

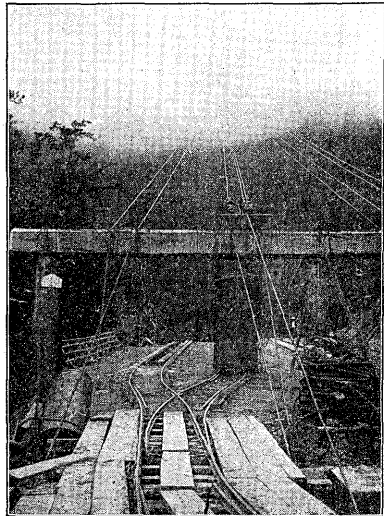


第4圖 溫泉ノ湧出口

北大ヨリ來ラレタ植物ノ先生ニ此話シテ申上ゲタ處、ソレハ私ノ父デスヨト云ハレテ奇縁ニ驚イタ事等ヲ物語ツテ呉レタ。

○索道 鳩ノ澤迄ハ森林鐵道、臺車ニヨツテ登ル事が出來ルガ、コレヨリ新大平山上ノ1900米ノ高地ノ事業場ノアル處ニ達スルニハ、鳩ノ澤ヨリ3回ノ索道ト3回ノ臺車トニ乗繼ガネバナラナイ。最下ノ鳩ノ澤索道ハ長サ950米デ斜角ハ22度、コレニヨリ350米ヲ上昇シテ仕舞フ。コレヨリ少シク臺車ニ乗り更ニ次ノ白嶺索道ニカカル。長サ1100米、25度ノ角度デ460米ヲ登ル。次ニ白糸臺車線ガ1里餘アリ、最後ノ白糸索道ニカカル。コレハ勾配モ最大デ27度ト云ハレテキル。勿論弧狀ヲナシタ鐵索ニヨルノデアルカラ、終點近クニテハコノ倍位ノ角度デ引上ゲラレルノデアル。見上グレバ數本ノ鐵線ハ遙カ上方ノ雲中ニ消エ索道ニ乗リツ、見降セバ、空中ニ浮ブガ如ク、數百米ノ谷底ニ1條ノ白線が見エ、微カニ水音が聞ユルノミ。頻リニ武者振ヒヲ感ジタガ、コレハ強チ雲界ノ冷氣ニ由ルモノノミデハナカッタデアラウ。人間ノ乗ル箱ハ一疊數程ノ廣サノアル黒塗リ木造デ底ヨリ水ガ滴ルノヲ不審ニ思ツタガ、コレハ箱ガ木材ニ比シテ輕イタメバラストノ役ヲナスノデアルト聞カサレテ成程ト思ツタ。索道ニヨレバ植物帶ノ變化ヲ居ナガラニシテ觀察スル事が出來ル。大體ニ於テ潤葉樹帶ト針葉樹帶トノ界ハ白嶺索道ノ途中、約1000-1200米附近ニアル。但シ落葉潤葉樹帶ハ明ニ認識スル事ヲ得ナカッタ。

○藤 とうハ臺灣ノ亞熱帶降雨林ヤ常綠潤葉樹林内ニ普通ニ見ラレ、鳩ノ澤溫泉附近ニモ多ク、他樹ニ纏繞シ長サ數十尺、ソノ先端ノ部分ハ寄主ノ頂ヲ超ヘルモノモ多イ。大シテ目立タヌ花ヲ着ケル。樫木平ヨリノ歸途、同ジ道ヲ戻ルノモ能ク無イ事ト思ヒ新道ガ下方ヘツイテキルノヲ幸ト、密林帶ヲジグザグニ降ル中ニ、イツシカ廣イ河原ニ降りテ仕舞ツタ。鳩ノ澤ヲ流レテキル河ノ上流ラシイ。河原ニハおにがヤデ屋根ヲ葺イタ小屋ガアリ前ニとうノ莖部ヲ裂イタモノガ多ク砂利上ニ乾シテアル。本島人や蕃人ハ山ニ入り自生ノとうヲ伐リソノ莖ヲ適當ニ裂キ乾シテ東ネ町ヘ持出スノデアル。サテ其ノ河原ヲ降ラウト道ヲ求メタガ河ハ急ニ蛇行シ斷崖ニハ道ラシイモノモ見エナイ。日ハ永イト云フテモ既ニ夕方ニナツテキル。止ヲ得ズ難行シテ山ノ中腹迄引返ヘシ、ココニテ十字ニナツテキル廢道ト思ハレルモノヲ溫泉ノ方ニ求メタ。暫ク行クト草ハ生ヒ繁リ道ハ絶ヘ、とうノ採集人ガ入ツタ附近ニハソノ伐リ棄テタ上方部ヤ葉等ガ亂雜ニ横タハリ如何トモシ難イ。莖ヲ包ム綠色ノ葉鞘ヤ葉柄ニハ鋭イ刺が生エテキル。思案ニ暮レタガ約1軒程下方ニ溫泉ノ屋根モ見エテキ



第5圖 白糸索道ヲ見上グル圖。  
中央ニ人ノ乗ル箱アリ

ル。樅木平マデ上リ更ニ元ノ道ヲ降ルヨリハト注意シナガラ、少々蛇ノ危険ヲ感ジツ、うらいさうヲ掘分ケ藤ヤくらづくヲ避ケツ、人家附近ノ開墾地ニタドリ着イタ時ニハ汗ト鉤裂キトデヘトヘトニナツテ居ツタ。

○針葉樹林 廣葉杉ノ殖林ヲ除イテハ低地ニテハ針葉樹ニオ目ニカ、ル事ハ困難デアル。白嶺索道ノ上ニテ初メテ紅檜ニ見參シタ。コレヨリ上ハ大體ニ於テ檜、紅檜ノ混交林デアルガソノ80%ハ檜デアルト

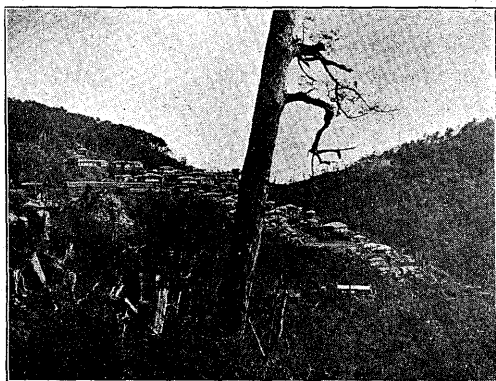
聞イタ。數抱ヘモアル大木ガ伐リ倒サレ枝ヲ落サレテ、ケーブルニテ軌道迄引出サレ適當ナ長サニ切斷セラレテ車ニヨリ搬出セラレル處ハ仲々壯觀デアル。又香杉(らんだいすぎ)、亞杉(たいわんすぎ)等ガ少量デアアルガ處々ニ見ラレル。前者ノ毬果ハコレヲ求メル事ガ出來タガ、兼々心ニ掛ケテ居タ 後者ノ毬果ハ遂ニ採集スル事ガ出來ナカツタ。臺北帝大ノ山本博士ガ機會サヘア



第6圖 針葉樹林、右ノ大木ハ香杉・左ノ大木ハ紅檜、中央ノ丈高キ樹ハ亞杉、亞杉ト香杉トノ間ニ太キ檜アリ

レバ100枚デモ200枚デモ毬果ノアル標本ヲ造ツテ置キタイガ未ダ希望ヲ達シ得ラレヌト云ハレタノヲ思出シテモツトモデアルト思ツタ。ナホ尾根附近ニハたいわんつが、たかねごえふト思ハレルモノガ遂ニ見ラレタ。たいわんあかまつノ若木モ山ノ斜面ニ散生シテ居ツタ。針葉樹林内ニテハ林下ニ羊齒類多ク、樹幹、樹枝等ヲ蘚類ガ蔽ヒ又長ク垂下シテ所謂蘚林ヲ形成シテキル處モアツタ。

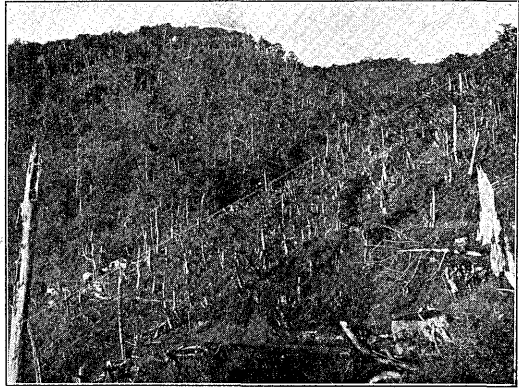
○檜ト紅檜 檜ハ内地産ノモノト別ニ異ラヌガ極メテ樹脂ガ多ク、切株ニヨツテ見ルニ樹脂ガ滴ランバカリニナツテ居リ山ノ人々ハ良イ附木ニナリマスト云ツテ居ツタ。紅檜ハ臺灣固有種デアル。山中ニアツテ兩者ヲ觀望スルニ、檜ハ多クハ單一ノ樹幹ガ直立シテ居ル如ク見ユルガ、紅檜ニ於テハ上方ガ箒ヲ倒立テタ如ク分枝スル傾向ガアル。又葉ハ前者ニ於テ綠色デアアルガ、後者ハ赤味ガアリ、特ニ夕日ノ照ス場合遠方ヨリ眺メテ良ク區別スル事ガ出來ル。又材ハ紅檜ノ方ニ赤味が濃ク



第7圖 新大平山頂ノ事務所附近

コレヲ嚼ムデ比較スル場合、檜ニハ樹脂ガ多イタメカ辛味ガアリ、後者ハソレ程デハナカ  
ツタ。羅東ノ貯材池ニテハ水ニ沈ムモノヲ池外ニ横タヘテアツタゴレハ紅檜ノ生材デア  
ルト聞イタ様ニ思フ。

特ニ興味ヲ以テ觀察シタノハ  
寄生菌類ニヨル區別デアル。伐  
倒シタ檜ノ木口ハ充實シタ心材  
ヲ有シ良材ト思ハレルガ、べに  
ひノソレハ大部分蓮根ノ切口狀  
ニ穴ガ開イテキル。一般ニ蓮根  
材ト稱シテキルガ、コレハかさ  
うるこたけ (*Stereum sulcatum*  
BURT.)ノ寄生ニヨルモノデ孔ヨ  
リ内部ヲ伺フニ白色ノ膜狀菌絲  
ガ内壁ヲ蔽フテキタ。山上ノ新  
大平山クラブハオ手ノ物ダケア



第8圖 事務所附近ノ伐採跡

ツテ總檜作りノ建物デアリ、屋根ニ瓦ノ無イノガ少々物足りナク思ハレタガ客間ノ欄間ヲ  
見ルニ紅檜ノ蓮根材ヲ斜ニ挽イタ板ガハメ込ンデアリ趣ノアル孔ガ並ンデキタ。

○製紙原料 臺灣ニテ紙ヲ製造スルト云フト奇妙ニ感ズルガ、元來砂糖ノ搾滓、ツマリ  
バガスノ一用途ニテ製紙工業ガ興ツタラシイ。河原、向陽ノ山ノ斜面、伐採地跡等ニ生ヒ  
茂ツテ我々ヲ悩マスモノニ鬼萱ガアルガ、コレモ原料トシテ用ヒラレタ事モアル。松、つが  
類ハ非常ニ良イラシイガコレハ供給ニ限リガアル。又檜、紅檜等モ用ヒラレテキル。紅檜

ヨリ造ツタモノニハ完全ニ漂白セ  
ズシテ少シク赤味ヲ帶ビテキル紙  
ガアツタ。檜材ハ其儘ニテハ樹脂  
ガ多過ギル爲メ一度蒸溜シテコレ  
ヲ取去リ、除イタ樹脂ハ鑛物ノ浮遊  
選鑛法ニ用ヒラレル由ヲ聞イタ。

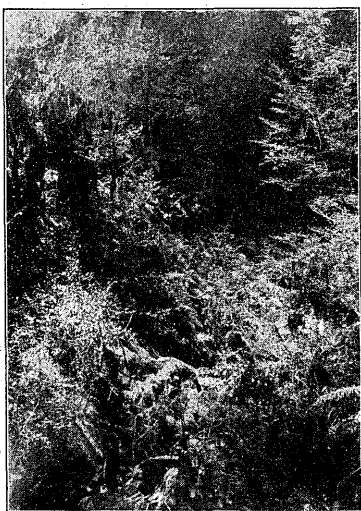
○つちとりもちノ1種 鳩ノ澤ヨ  
リノ索道ニ沿フテ密林中ヲ小徑ガ  
通ジテキル。大樹ノ枝ハ交錯シ腐  
木モ豊富デ相當量ノ菌類ヲ採集シ  
得タ。鳩ノ澤索道ノ終點近ク徑ノ  
左側徑(おぼばがし?)ノ根元ニ1  
種ノつちとりもちヲ見出シタ。附



第9圖 紅檜ノ蓮根腐

近ヲ注思スルニ雄株モ雌株モ交ツテ諸處ノ落葉ノ間ヨリ坊主頭ヲ持上ゲ、中ニハ雌雄ガ相並  
ビ寄主ノ同ジ根ヨリ出テキルト思ハレルモノモアル。雌株ノ頭ハ淡紅色、雄株ハ黃色ニ紅

色ノ斑點アリ、開花スレバ白色ノ花粉ヲ露出スル。柄ハ「レモン」色デ苞モ黃色或ハ黃褐色、後ニ柄ト共ニ黑色ノ汚染ヲ生ズル。雄株ハ雌株ヨリモ先ニ延ビ 20 cm 餘ニ及ブモノモアル。台北ニ歸リ、山本博士ニ伺ツタラ本菌ハふでがたつちとりもち *Balania mutinoides* (HAYATA) ラシイトノ事デアッタ。從來つちとりもち類ハ 1 屬 *Balanophora* ノミガ用ヒラレテキタノデアアルガ、新分類法ニヨレバ雄花ノ葯ノ數及ビ並ビ方ニヨリ 4 個ノ屬ニ分ケラレ其内 3 葯 1 花ヲナスモノヲ以テ *Balania* 屬ガ設ケラレタ。山本博士ハ此分類法ヲ用ヒラレ、我々ニモ極メテ判リ易ク思ハレタノデアアル。然ラバ此分類法ニヨリ系統的ニ研究シタ最初ノ人ハ誰カト云フニ米國ノ海藻學者 W. A. SETCHELL デアル。實ハ先年カリフォルニア大學ヨリ出版ノ



第 10 圖 蘇 林

タヒチ島菌類誌ヲ購入シタ事ガアルガ菌類ニ關シテハホンノ數頁デ大部分ハ海藻ト顯花植物誌トヨリナツテ居リ、シカモ採集者並ビニ著者ガ海藻專攻家トノミ思ツテ居ツタ SETCHELL トナツテキルノヲ見テイサ、カ意外ニ感ジタノデアアル。挿圖中ニ *Balanophora* ノ立派ナ寫眞ガアッタ。其時ヨリ SETCHELL ト *Balanophora* トノ聯想ガ頭ニアツタノデ、山本博士ニヨリ SETCHELL ノ *Balanophora* ニ關スル論文ヲ拜見シタ時ニスグタヒチ島ヲ思出シタノデアアル。

熟々考ヘテ見ルト落葉ノ間ニス様な植物ヲ採集スルノハ顯花植物專攻ノ高等ナオ方々ノ仕事ヨリモ、寧ロ朽木ヤ朽葉ノ間ヲ鵜目鷹目デ這廻ツテ居ル我々ノ領分ノ様ナ氣ガスルノデアアル。イヤ實際ニつちとりもち類ヲ菌類トシテ扱ツタ學者モ居ツタノデアアル。1860 年出版ノ BERKELEY 著 *Outlines of British Fungology* ノ第 2 圖版ニハ

第 11 圖 ふでがたつちとりもち  
中央ノ 1 個ハ雌株、他ノ 4 個ハ雄株

*Balanophora involucrata* Hook. f. ノ色彩入りノ圖ガアル。勿論彼ハ菌類ニ似タ植物ノ一例トシテ挿入シタモノデアラウガ、彼ハコレヨリ前 HOOKER ノ *Journal of Botany*, VI p. 211, pl. VIII, fig. 3 (1854) ニ冬蟲夏草ノ 1 種トシテ印度産ノ *Cordyceps racemosa*

BERKELEY ナルモノヲ發表シテキル。モットモ、コレハ後ニ *Balanophora Hookeriana* デアルト云フ事ニナツタガ。

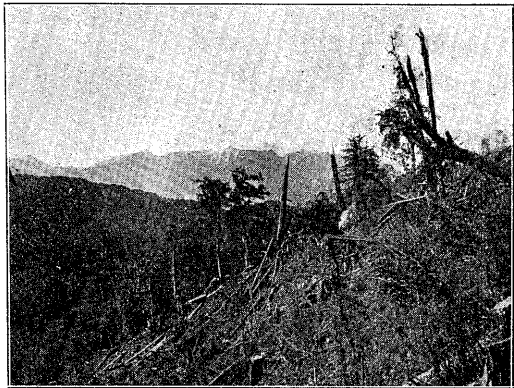
〔序〕—昨年屋久島ノ菱生附近ノ森林中デつちとりもちヲ採集シタ際ノ色ニ關スルメモヲ記シテ置ク。コレハ餘計ナ事デハアルガ、數年前或教科書ニ寄生顯花植物ノ1種トシテ是非本種ヲ挿入シタイト考ヘテ色ヲト文献ヲ獵ツタガ委シク色彩ヲ記シテキルモノガナイ。僅カニ川村清一博士ノ最新科學圖鑑中ノ植物圖譜中ニアル寫生圖ノ色ト記憶ニアル色彩トデドウヤラソレラシイモノヲ作り上ゲタ事ガアリ、彩色圖ノ必要ヲ痛切ニ感ジタカラデアル。

つちとりもちノ色 (RIDGWAY ノ色彩表ニ據ル) 壺…Honey Yellow, 疣部ハ少シク淡色; 苞片…Pale Yellow Orange, 上部ニハ Rose Doree ノ縦線アリ、或ハ柄ト同色、一樣ニ光澤アリ; 柄…Grenadine, 光澤アリ、或ハ頭部ト同色; 頭部…幼時 Zinc Orange, 成熟シテ Nopal Red, 内部組織ハ Pinard Yellow × Buff Yellow.

云フマデモナク雄株ノ見出サレテ居ラヌ此つちとりもちハ SETCHELL ノ分類法ニヨレバソノ屬モ未定デアルトシカ考ヘラレナイ。

○蛇 ソモソモ何故小生ガ大平山ヲ目指シテ來タカト云フニ今カラ十數年前東大ノ小南助教授ガ此地ニ於テ發光菌ヲ採集サレタ事ガアリ、小生モイツカ訪レテ實見シタイト思ツテ居ツタカラデアル。又其記事中ニ同地ハ毒蛇ノ巢窟デアルト云フ事ガアツタノデ小生モ相當ナ覺悟ヲ以テ臨ムダノデアル。幸カ不幸カ4月ノ氣候デハ時期ガ少ク早カッタ爲カ毒蛇ノ害ヲ受ケナカツタト共ニ、發光菌モ見ズニ終ツタ。然シナガラ鳩ノ澤附近ハ毒蛇ガ特ニ多イ事ハ土地ノ人々モ云フテ居ル。ツヒ數年前宿ト河ヲ隔テタ處ニアル鮮人ノ家は夜臺灣波布ガ這入り赤坊ヲ咬ムダガ、3時間後ニ赤坊ハ絶命シタサウデアル。又宿ノ主婦ガ近所ノ家は夜間話シニ行ツタ歸途、上リロデフト下駄ヲ見ルト其上ヲ6尺近イノガ這ツテ居タト云フ。アヒルヲ飼ツテ居ルト蛇ハコノ糞ヲ嫌フテ家ニ近附カヌト云ハレ諸所デコレヲ見掛ケタ。案内人ノ話デハ新大

平山頂ノ針葉樹林中デモ百步蛇ガ居ルガ逃ゲ足ノ早イ事モ相當ナモノデアルサウダ。小生モ初メノウチハ要心シテ小徑ヲ分ケ入ル時ニハ長イ樹枝デ兩側ノ叢ヲ薙ギツ、進ンダガ其内ニ次第ニ神經質デハナクナツタ。一般ニ夕方ヨリ夜ニカケテノ歩行ニ注意スレバ左シテ心配スル程デモナイラシイ。「近頃ハ皆様ガ(マムシ)ヲ見附ケルト、モウソレハ目ガナク食ベテ仕舞フノデ大



第12圖 新大平山ヨリ南湖大山ヲ望ム

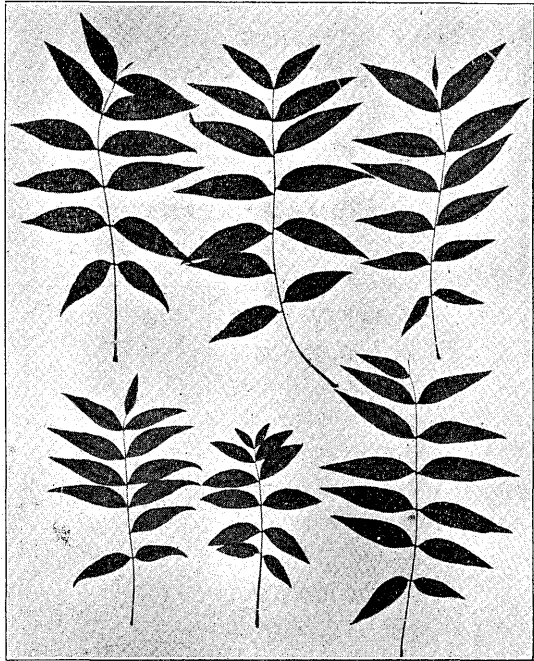
部以前ヨリ減少シマシタ」トノ話デアル。又斯様ナ話ガアル。或土工場デー匹ノ蛇ヲ見付ケ大勢寄ツテタカツテ生ノママ食ベテ仕舞ツタ。後レテ來ター一人ハ非常ニ残念ガツタガ食べ残サレタ骨ヲ見付ケテコレヲ碎キ丸メテ賞味シタ。更ニ後レテ來ター一人ハ最後ニ残ツタ蛇ノ頭ヲ見テコレハ勿體ナイト、ソノ目玉ヲ刳抜キ水ニ浮ベテツルリトヤツテ仕舞ツタサウデアル。

**○南湖大山** 次高山ハ白糸索道ノ頂ヨリ見ル事が出來ルサウデアルガ合憎ト雲ガカカツテ好機ヲ逸シタ。併シナガラ新大平山頂ヨリ出ル軌道ニ添フテ一里程行ツタ處ヨリ意外ニ近ク南方ニ南湖大山ヲ望ムコトガ出來テ満足シテ仕舞ツタ。實ハ針葉樹林内デハ菌類ガ極メテ少イノデ少々落膽シテ居ツタ際トテ一層嬉シイ思ヒガシタノデアル。次高山モ新高山モ連互スル山脈ノ一部デアルガ南湖大山ハ獨立シテ居リ、富士山ヨリ高イソノ峯ニハ雪ヲ戴キ堂々タル偉容デアツタ。此向側ガ金デ有名ニナツタ タツキリ 溪デアル。

### ○楷ノ葉 (小林義雄)

本郷湯島ノ聖堂地域内ノ大成殿ニ向ツテ右側ニうるし科ノ一喬木ガ植エラレテアル。はぜのきノ葉ヲ少シク細カクシタ様デ、ソノ清楚ナ樹姿ハ眞ニ風雅ナモノデアル。

曲阜ノ孔子ノ墓地ニソノ門下ノ子貢ガ植エタト稱セラレル有名ナ楷ハコレデアルト云ハレテキル。學名ヲ *Pistacia chinensis* BGE. ト云フ。コレニ就テハ BRETTSCHEIDER ノ *Botanicon Sinicum*, II, p. 399 (1892) ニ解説ガアルシ、和書デハ松崎直枝氏ノ近世渡來園藝植物ノふすだすノ項ニ一寸見ラレ、又コレニヨリ南方熊楠氏ガ日本及日本人中ニ記シテ居ラレル事ヲ知ツタ。本種ハ中南支ニ廣ク分布シ BRETTSCHEIDER ニヨレバ北京ノ山地ニモアルサウデアル。又臺灣ノ中南部ニ普通ニ見ラレル爛心木(らんしんぼく)ハコレト同一種デアル事が金平亮三氏ノ臺灣樹木誌(1936年版)ニ記サレ、立派ナ圖ガ挿入セラレテアル。又同書ニヨリ本種ガ



楷ノ葉形各種

Various leaves of *Pistacia chinensis* BGE.